

事務事業名	環境技術開発センター運営事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	工業課	H29係等名	工業振興係	H28担当課等名	工業課			
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり					
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり					
目的	対象(誰・何を)	起業、研究開発に取り組む意欲のある者。飯田市環境技術開発センター入居企業。入居企業の研究開発担当者。		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	新しい研究開発の技術、技能を身につける。入居企業同士が交流し、技術を高め合う。企業の担っている技術をさらに高める。			入居企業数	3		
	向上させたい上位施策の成果指標	既存事業者の出荷額(工業)飯田下伊那(億円)			入居企業の研究者・技術者数	8		
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	・新規創業者数		1	1	1	1	
	成果指標	・新製品、新事業数		3	6	3	5	
定性目標								
事業概要	<p>環境技術開発センター施設の管理、運営を行うとともに、環境技術開発センター施設を活用し、起業や研究開発を支援する支援担当者を中心に大学、研究機関、南信州・飯田産業センターや工業技術センター等の連携を図り、入居者や地域の企業との研究開発、共同研究を支援する。</p> <p>平成15年度からスタート 敷地面積;11,302.99㎡/延床862.54㎡ 入居可能部屋数;6室 利用料;無料(共益費相当実費負担) 利用期間;5年以内</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 環境技術開発センターの運営管理			1 入居者相談支援回数		1 3回		
	2 新規入居者の募集・PR活動の実施			2 支援・イベント開催回数		2 2回		
	3 インキュベート委員会の開催と相談・支援の実施			3 委員会開催数		3 2回		
	4 起業家、入居企業による成果発表会の実施			4 成果発表会開催数		4 1件		
	5 工業技術センターを核とした技術、解析、分析等の支援			5 工業技術センターによる支援数		5 4回		
	6 国内のインキュベーションセンター(支援機関及び大学所有)に入居しているベンチャー企業・研究開発型企業に対して誘致活動			6 誘致活動件数		6 3件		
	7 センター施設の整備(老朽化)							
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	4,874	7,081	6,057	0	(そ)環境技術開発センター入居企業共益負担金1,158千円 (そ)桐林環境産業公園駐車場使用料1,580千円			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他	2,541	2,780	2,738					
一般財源	2,333	4,301	3,319					
人件費計(千円)②	715	715	715	0				
正規職員所要時間	200	200	200					
臨時職員所要時間								
総事業費①+②	5,589	7,796	6,772	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	施設利用促進に関しては、施設情報の発信や企業立地係、金融政策課との連携により誘致活動を実施している。H28年度には、継続的な支援の結果、入居企業1社が市内へ創業を行った。また、新製品・新事業数については、例年どおり安定的な支援を継続している。							
改革改善の考え方	①問題点	地域内外からの施設利用を促進するための効果的な情報発信及び誘致活動が必要である。また、入居企業に対する新規創業に向けた継続的かつ統合的な支援によるサポートが必要である。						
	②改革提案	インキュベーションマネージャーによる定期的な情報交換や新規創業に向けた自立化の支援を充実させる。						